

藤沢の想いを 神奈川へ!



神奈川県議会議員 市川和広

ご挨拶

日頃より、私の政務活動、議会活動にご理解、ご支援を頂いておりますことに、心より感謝、御礼申し上げます。

平成28年度は県民・スポーツ常任委員会、予算委員会に所属し、真の共生社会実現、待機児童解消に向けた取り組み、子供の貧困対策の推進、児童虐待への対応、スポーツの推進のための取り組み、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピックの島セーリング競技に

向けた取り組みなど、様々な県政の重要課題について議論をさせて頂きました。

また、自民党神奈川県議団政務調査会の副会長を拝命し、まさに、県政に直結する自民党県議団の代表質問づくりをはじめ、請願・陳情、意見書・決議案の窓口として、常に県民の皆様の生活の安定と向上のために働かせていただきました。

引き続き、地元藤沢の想いを神奈川県政へしっかりと届けるとともに、神奈川県90万人の福祉の向上のために、初心を忘れず頑張つてまいります。皆様のご指導を心よりお願い申し上げます。

市川和広 PROFILE

- 昭和46年(1971年)4月8日 鶴沼神明に生まれる 46歳
 - 湘南台中学校 卒業
 - 日本大学藤沢高校 卒業
 - 日本大学法学部経営法学科 卒業
 - 衆議院議員(甘利明)公設第二秘書
 - 大和工務リース株式会社(現大和リース) 入社
 - 平成19年 藤沢市議会議員初当選(3,693票獲得)
 - 平成23年 藤沢市議会議員2期目当選(4,037票獲得)
 - 平成27年 神奈川県議会議員選挙初当選(14,208票)
- 役職 藤沢市バドミントン協会 会長 日本大学藤沢高校・中学校後援会長 新林地区社会体育振興協議会 会長

自民党政調副会長として、 神奈川県政に直結する代表質問を 手がけました!



平成29年第1回定例会 代表質問(抜粋)

神奈川県内への自主避難者の民間賃貸住宅家賃の一部補助として、3,828万円を当初予算に計上!

福島原発事故の避難指示区域外からの避難者への応急仮設住宅の供与が3月で終了するため、政調会として、避難者の会の皆様の痛切な声にしっかりと応えるために、神奈川県として独自に支援をするべきであると主張。

週休2日制確保モデル工事の試行を開始!

建設業が引き続き社会的使命を果たすためには、建設現場で働く担い手をしっかりと確保する必要があります。そのためには公共工事予算の確保や施工時期の平準化は大きな課題。こうした建設業を取り巻く課題にしっかりと対応すべきと主張。

小児がんの重粒子線治療のため、平成29年度は、こども医療センターと連携し、小児がん専門の医師や看護師などの専門職種による研究チームを立ち上げる!

毎年、全国で2,000人を超える子どもたちが新たに小児がんを診断されている。こども医療センターでも、年間約70人の新たな小児がん患者を受け入れている。小児がんへの重粒子線治療が可能になれば、子どもたちやご家族にも大きな希望となる。がんセンターとこども医療セ

予算委員会(総括質疑)で 質問に立つ!

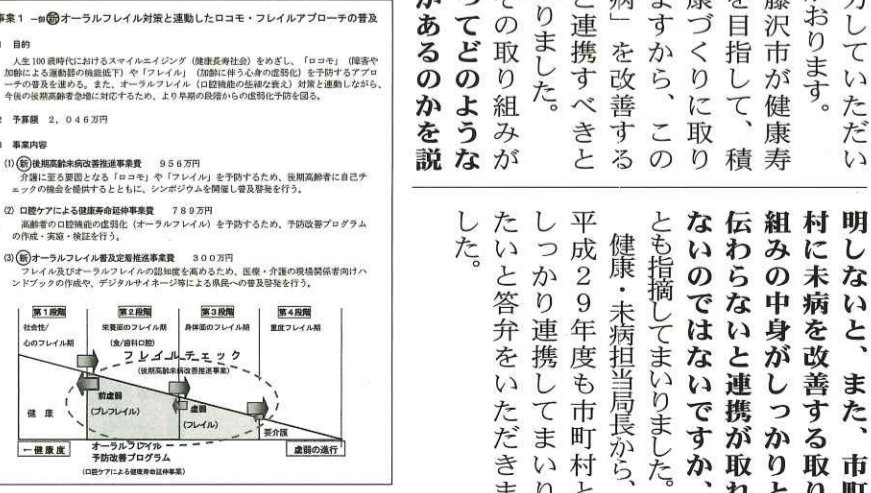
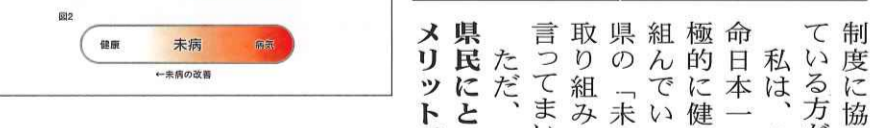
黒岩知事らに真の共生社会の実現に向けた取り組みについて、健康長寿社会に向けた未病改善の取り組みについて質す!!



「未病」って何ですか?

「未病」は、ヘルスケア・ニューフロンティアの根幹となるコンセプトです。県では、図1のように、心身の状態を「健康か病気か」といった明確に二つに分けられるものとして捉えるのではなく、図2のように、心身の状態は健康と病気の間で常に連続的に変化するものとして捉えています。

「未病の改善」とは、心身の状態の変化の中で、特定の疾患の予防にとどまらず、心身をより健康な状態に近づけていくことです。



真の共生社会実現に向けた取り組み

障害者支援施設である県立津久井やまゆり園において発生した、大変痛ましい事件を受け、私たちは、県とともに「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定しました。この憲章については、全国から注目されており、この憲章の理念をしっかりと発信し、普及させていかなくてはなりません。県では、本年7月26日を含む1週間を「ともに生きる社会推進週間」と定めて、様々な媒体を使って集中的に普及啓発に努めていくとの考えを示しております。

私は、この憲章の理念にある「だれもがその人らしく暮らすことのできる地域社会」という当たり前の社会を実現していくためには、普及啓発と

健康長寿社会に向けた未病改善の取り組み

「未病」という言葉を知っていますか? 「未病」状態を自覚したことがありませんか?

県では「未病を治すかながわ宣言」を発表して3年が経ちます。本市においても、未病センター(民間企業)が1箇所設置されており、未病サポーター、未病を治すかながわ宣言協力活動登録

制度に協力していただいている方がおります。私は、藤沢市が健康寿命日本一を目指して、積極的に健康づくりに取り組んでいますから、この県の「未病」を改善する取り組みと連携すべきとさせて頂きました。

ただ、その取り組みが県民にとってどのようなメリットがあるのかを説明したいと答弁をいただきました。

健康・未病担当局長から、平成29年度も市町村としっかりと連携してまいりますと答弁をいただきました。

県民・スポーツ 常任委員会に臨む

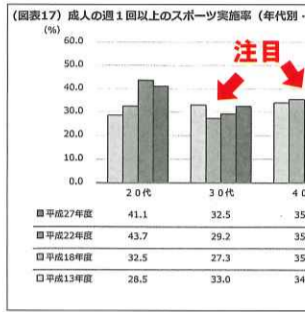
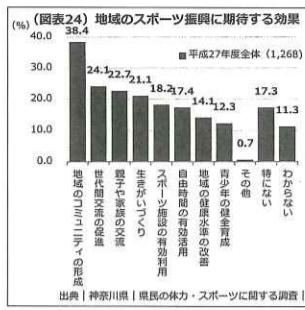
是非、知ってください！ スポーツ推進条例・スポーツ推進計画

条例制定、計画策定のためにしっかりと議論しました！！

神奈川県スポーツ推進
条例並びに、スポーツ推
進計画については、我が
会派から長い間制定を求
めてきたものであり、私
自身、この1年間、当委
員会で多くの時間を割いて、
スポーツの定義や意義から、
基本理念の必要性、具体
的な施策の基本的な方向
性まで議論してきました。
議論の成果が表れた条例、
計画となりました。

今後、計画に示された
それぞれのスポーツ施策
の成果については、検証・
評価を行い、必要に応じ
て場合によっては変更す
るなど、柔軟に対応し、
実効性のある計画となる
よう注視してまいります。

神奈川県スポーツ推進
条例並びに、スポーツ推
進計画については、我が
会派から長い間制定を求
めてきたものであり、私
自身、この1年間、当委
員会で多くの時間を割いて、
スポーツの定義や意義から、
基本理念の必要性、具体
的な施策の基本的な方向
性まで議論してきました。
議論の成果が表れた条例、
計画となりました。



東京2020オリンピックピック・セーリング競技 開催に向けた課題を質す

私が、2020年の江の島のセーリング競技開催に
向けて、現時点での課題として捉えているものは左記内
容です。委員会ではかなり力を入れて質疑いたしました。

- △江の島湘南港の既存艇の移動
- △漁業者との調整
- △プレレ大会、プレ大会
- △ワールドカップの対応
- △セーリング関連予算
- 5億1,891万円(艇整備庫整備費、給油施設整備費、江の島大橋3車線化事業)
- 3車線化、葉山港船舶



江の島大橋3車線化事業
湘南港 臨港道路
江の島大橋 舗装等の改修事業
県道305号(江ノ島)

県に強く要望

(市川) 大会の開催に向
けては、湘南港の利用者
や漁業関係者等の理解と
協力は不可欠であり、引
き続き、丁寧な調整を行
うことを要望いたします。

また、何よりもこうし
た調整等に当たっては、
ワールドカップやオリン
ピックのテストイベント
の時期や規模について、
速やかに明らかにするこ
とが求められています。
できるだけ早期に日程等
が示されるよう組織委員
会等に対し、県としての
意見をしっかりと述べ、働
きかけるよう要望いたし
ます。(平成29年3月17
日県民スポーツ常任委員会)

東京2020大会の開会式から 1000日前の10月28日に 藤沢で記念イベントを開催し ます！(1000日前イベント)

セーリングトップアスリ
ートによるトークショーな
どセーリングに対する理解
を深めるプログラムを盛り
込んだイベントです。
とにか、機運醸成には、
セーリング体験をしていた
だくことも大事ですが、セ
ーリングの艇種、競技ル
ール、観戦の上での最低限の
知識等を広く知らしめる取
り組みが必要です。
藤沢市としっかりと連携
して、一体感ある取り組
みができるよう努めてま
いります。

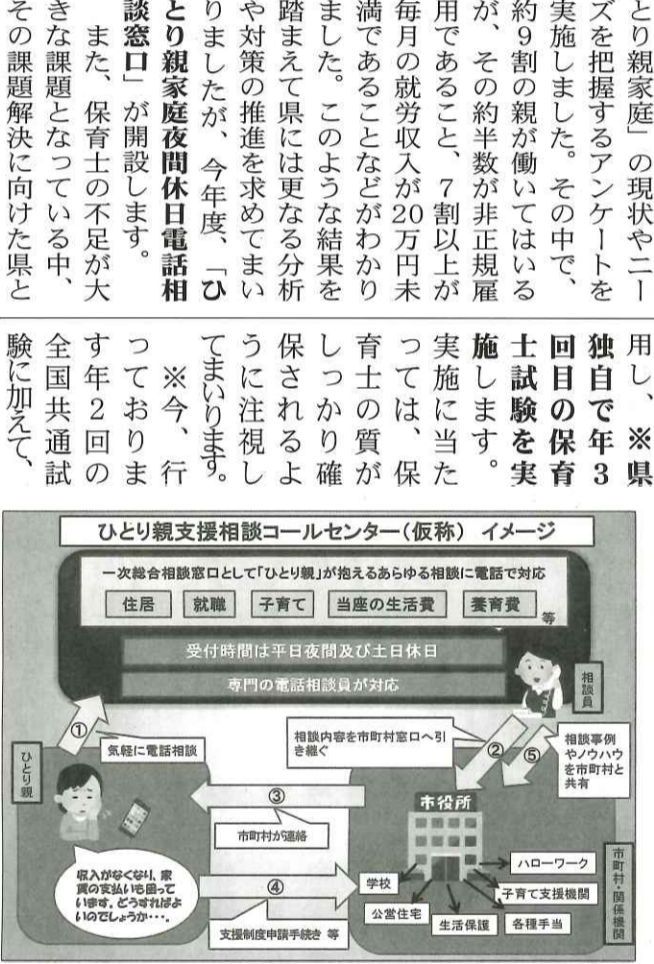


ラグビーワールドカップ2019 予算、今年度は5.35倍に！ 5億3,275万円計上！！

私は常任委員会で、ラ
グビーワールドカップイベ
ントを職員の皆様が、ラグ
ビーボールを使ったストラ
ックアウト版や、トライ体
験などの手作り感のある取
組みを行うことは、いい
事とは思いますが、ラグビ
ーワールドカップ2019
は、世界三大スポーツ大会
ですから、PRや広報、体
験型のイベントなどを、県
内市町村と企業との連携で、
しっかりと行わなければなら
ないと指摘。
つまり、そのためには予
算の確保を十分にすべくと
指摘してまいりました。

子どもの貧困対策・子ども子育ての 更なる施策の充実のために！！

全国で子どもの貧困問題
が深刻化する中、県は特に
生活困窮の恐れが高い「ひ
とり親家庭」の現状やニ
ーズを把握するアンケートを
実施しました。その中で、
約9割の親が働いてはいる
が、その約半数が非正規雇
用であること、7割以上が
毎月の就労収入が20万円未
満であることなどがわかり
ました。このような結果を
踏まえて県には更なる分析
や対策の推進を求めてま
いりましたが、今年度、「ひ
とり親家庭夜間休日電話相
談窓口」が開設します。
また、保育士の不足が大
きな課題となっている中、
その課題解決に向けた県と



県議会・一般質問で 様々な提案をしました！

私、市川和広は2回の一般質問の機会をいただき、
地元のこと、時宜にあった質問を心掛けてまいり
ました。その内容を報告いたします。

- 1 鬼怒川等の水害を踏
まえた取り組みにつ
いて
- 2 中小企業の新たな
IT活用について
- 3 マリンスポーツの振
興について
- 4 都市計画道路横浜藤
沢線について
- 5 健康団地づくりの着
実な推進について
- 6 防災教育について
(平成27年第3回定例会)

県議団 NEWS

平成27年11月発行 第23号 第三回定例会報告号

神奈川県企業のアイデアを ITブランド化

内企業のIT活用は、社内の業務効率化やコスト削減といった「守り」を主眼としたものが多い。しかしこれから企業が成長し国際競争に勝ち抜くためにはITを新産業やビジネスを生み出すツールとして活用していくことが必要である。市川和広議員(藤沢市)は、守りのITから攻めのITへと県内企業の発想転換を促し、モチベーションを高めるため「なでしこブランド」のように「攻めのITビジネスモデル」を県が認定・表彰するなど「ITのブランド化」を行っていくアイデアを知事に提案した。

地域	割合
日本 (n=216)	15.7%
神奈川県 (n=184)	75.3%

- 1 神奈川県住生活基本計画の見直しについて
- 2 中小企業・小規模企業の後継者不足への対応について
- 3 スポーツを通じた健康づくりについて
- 4 本県の養鶏業における鳥インフルエンザ防疫対策について
- 5 東京2020オリンピックピック・パラリンピック競技大会に向けた市町村との連携について
- 6 観光資源としての夜景の活用について
- 7 栄養教諭の配置について

中小企業・小規模企業の 事業承継に支援を

いちかわ かずひろ
市川 和広
自民党 藤沢市

問 中小企業・小規模企業の後継者不足に対応して、事業承継の円滑化を図っていく必要があると考えるが、どのように取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。

答 後継者不在の企業や創業希望者の情報を登録する「後継者人材バンク」を設置し、マッチングを支援していく。また、商工会議所等と連携して、贈与税の猶予などの特例の活用を促進し、円滑な事業承継を支援していく。

このほか 東京五輪に向けた市町村連携、観光への夜景の活用、栄養教諭の配置、スポーツによる健康づくりなどについて質問しました。

栄養教諭の配置拡充へ

県議会 来年度から6校に1人

桐谷次郎県教育長は6月を訪問指導しているが、桐谷教育長は「未配置校の栄養教諭の配置について2017年度から8校に1人から6校に1人に拡充する方向で検討していく」との考えを明らかにした。同日の県議会第3回定例会本会議で、自民党の市川和広議員(藤沢市)の一般質問に答えた。

食育を推進する栄養教諭は、勤務校に加えて近隣校